

埼玉県生協連 第52回通常総会

行政・県議会・友誼団体からのご祝辞

CO・OP 埼玉県生活協同組合連合会



埼玉県生活協同組合連合会第 52 回通常総会に寄せて



埼玉県知事 大野 元裕

本日ここに、埼玉県生活協同組合連合会の第 52 回通常総会が開催されますことを心からお喜び申し上げます。

吉川尚彦会長理事をはじめとする貴連合会の皆様には、消費者の権利の擁護や消費者市民社会の確立、食の安全など、様々な分野で県の消費者行政の推進に格別の御支援、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

インターネットの普及やサービスの多様化など社会の変化に伴い、消費者トラブルは複雑かつ多様化し、県内の相談件数も依然として高止まりの状況です。特に高齢者からの相談が多く、65 歳以上の高齢者からの相談が約 3 割を占める状況が続いています。

そうした中、高齢者等の被害防止の取組では、1,000 名を超える方々が、地域の見守りや啓発活動を担う「消費者被害防止サポーター」として御活躍いただいております。生協組合員の皆様にもサポーターとして多くの御参加をいただいておりますことをこの場をお借りして感謝申し上げます。

さて、本県は今、人口減少社会や異次元の高齢化、新しい生活様式への対応など、大きな変化の時期を迎えています。県としても、あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向け取り組んでまいります。

また、環境に配慮した持続可能な本県経済のため、資源消費量の最小化と企業の新たな成長につながるサーキュラーエコノミーを推進します。

貴連合会では、「安心して暮らし続けられる地域社会づくり」を目指し、助け合い活動や、防災・減災の取組など多様な見守り活動を進めておられます。さらに、「誰一人取り残さない持続可能な社会づくり」に向け、地域循環型社会の実現やジェンダー格差解消に向けた取組を推進され、これらは、私の目指す県の姿と重なるものであり、誠に心強い限りです。

これまで豊かな地域社会を目指す様々な取組をしてこられた御参会の皆様には、引き続き、格別のお力添えをお願い申し上げます。

結びに、埼玉県生活協同組合連合会のますますの御発展と皆様方のさらなる御健勝、御活躍を心から祈念し、私からの挨拶とさせていただきます。



埼玉県生活協同組合連合会第 52 回通常総会に寄せて

埼玉県議会議長 立石 泰広

埼玉県生活協同組合連合会の皆様には、第 52 回通常総会が開催されますことを心からお慶び申し上げます。

貴連合会におかれましては、1972 年の設立以来、50 年以上の長きにわたり、県内の生活協同組合の取りまとめ役として、本県の生活協同組合事業の振興と発展、並びに県民の暮らしの向上に多大なる御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年 5 月に、新型コロナウイルスは感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ「5 類」に移行し、感染症対策が大きな節目を迎えましたが、再度の感染拡大も懸念されており、引き続き基本的な感染対策が必要であります。

また、加速する人口減少、少子高齢化やエネルギー価格や原材料、食料などの価格の高騰、激甚化・頻発化する自然災害への対応など、私たちが直面している課題は多岐にわたっております。

こうした状況の中、本県議会では、県民の皆様の声に耳を傾け、各種団体の皆様と連携、協力しながら、議案審議や政策提言、国の関係機関への意見書の提出などにより、県民の皆様が安心して暮らせる社会づくりに、全力で取り組んでまいります。

貴連合会及び加盟生協の皆様には、高齢者の見守り活動や生活困窮者支援をはじめ、消費者被害の防止、食の安全、環境問題や防災・減災への取組など、多様かつ地道な活動を通じて、安心できる地域社会づくりに極めて重要な役割を担っていただいております。

また、SDGs の理念である「誰一人取り残さない持続可能な社会」の実現に繋がる皆様の活動は、「日本一暮らしやすい埼玉」を目指す埼玉県と方向性が一致しており、大変心強く感じております。

今後とも、長年にわたり培ってこられた御経験のもと、県民の暮らしの向上にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、埼玉県生活協同組合連合会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げまして、あいさつといたします。



埼玉県生協連第 52 回通常総会 ご挨拶

埼玉県議会自由民主党議員団

団長 田村 琢実

埼玉県生活協同組合連合会第 52 回通常総会の開催を心よりお祝い申し上げます。

また、平素より「埼玉県議会自由民主党議員団」の活動に対しまして、ご支援、ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

今年で新型コロナウイルス感染者の国内初確認から 3 年が経過しましたが、本年 3 月 13 日より、マスクの着用は個人の判断が基本となり、更に 5 月 8 日より、新型コロナウイルス感染症は感染症法上 5 類に引き下げられました。平穏な日常に向けて着実に歩みを進めておりますが、感染再拡大の警戒を怠ることなく、状況等に応じた対策を講じて参ります。

さて、2023 年埼玉県議会議員選挙において、当団は、改選前を上回る議席を獲得することができました。厳しい選挙戦を勝ち抜いた新たな仲間たちと共に、県民の負託に応えるべく、所属する議員の一人ひとりが責任会派である自覚のもと議会運営に取り組み、県政に与える影響の大きさ、その重責を担う責任会派として、県政をリードして参ります。

また、一昨年及び昨年に相次いで県内で発生したネットカフェ立てこもり事件を受け、「ネットカフェ立てこもり事件に対する安全検討プロジェクトチーム」を立ち上げ、防犯対策が不十分な事業者に対して県が指導する根拠となる「埼玉県防犯のまちづくり推進条例の一部を改正する条例」を令和 4 年 9 月定例会において上程し、全会一致で可決されました。同条例を含め、昨年度、当団が提案した議員政策条例は 4 件可決され、埼玉県議会における議員政策条例制定数は 41 件となりました。これは、全国の都道府県議会における議員政策条例制定数のトップクラスを誇るものであります。新体制となった「埼玉県議会自由民主党議員団」でも県民ニーズを的確に捉え、柔軟に対応する政策集団を目指して参ります。

結びに、埼玉県生活協同組合連合会の限りないご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、挨拶とさせていただきます。



通常総会ご挨拶

埼玉民主フォーラム
代表 田並 尚明

埼玉県生協連第 52 回通常総代会の開催、心よりお祝い申し上げます。
さて、新型コロナウイルスが感染法上の 5 類相当に位置づけられ、社会経済活動もコロナ禍以前の活気を取り戻しつつあります。

コロナ禍の 3 年間で浮き彫りになった日本社会の抱える課題、例えば女性や子どもの自殺や引きこもりの増加、非正規雇用労働者の生活困窮など、より弱い存在にしわ寄せがいく社会構造が可視化されたことをきっかけに、コロナ後の社会の再構築が求められていると思います。

労働者協同組合法が昨年 10 月に施行されるなど、協同組合の存在に注目が集まっています。

組合員の出資と参加を基本とする民主的な運営を基本とし、営利の追求ではなく社会改題の解決を目的とする協同組合の存在は、分断と孤立が進む社会での希望でもあります。

私共は、議会の立場から「誰一人取り残さない埼玉県」を掲げる大野知事と連携し政策を提案していく所存です。

また、現在、もうひとつ人類の存在を大きく脅かす脅威として、気候変動が挙げられます。脱炭素化を進め、持続可能な経済への転換は急務となっております。

今ほど、社会や経済の持続可能性が叫ばれる時代はありません。

SDGs 推進は大野県政の政策の柱となっておりますが、私共も持続可能な経済なくして、埼玉県の未来はないと考えます。地域から脱炭素化を進めるゼロカーボンシティとしての埼玉県を目指して、知事に対して積極的に政策提案をしていく所存です。

このような困難な時代にあって、今こそ、生協を始めとする協同組合の存在が必要とされる時代はないと感じております。

消費者の出資と経営を基本とする民主的な事業体である協同組合は、持続可能性を基本理念としています。

大量生産・大量消費・大量廃棄のこれまでの社会を見直しチャンスとしてこのコロナ禍をとらえ、ポストコロナの新しい時代を展望したときに、生協は重要なプレイヤーとなると確信しております。

最後に、貴連合会の益々の発展をお祈り申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



埼玉県生活協同組合連合会第 52 回通常総会 ご挨拶

埼玉県議会公明党議員団

団長 蒲生 徳明

埼玉県生活協同組合連合会の第 52 回通常総会の開催、心よりお慶び申し上げます。昨年創立から 50 周年の佳節を迎えられました埼玉県生協連の皆様は、長年にわたり各自自治体、議会と連携を取る中で、食や健康、そして環境問題や平和活動、生活困窮者支援、消費者被害の防止活動などを通し本県において多岐にわたり活動を続けてこられました。

併せて、新たな目標と未来を見据えた持続可能な社会の発展を目指す新ビジョンを掲げ、日々活動を進められておりますことに、心から敬意を表します。

さて、3 年以上続いた新型コロナウイルスへの危機対応が転換点を迎えました。

本年 5 月にコロナの感染症法上の位置付けが「2 類相当」から「5 類」に変更され、入院勧告や行動制限といった強い措置がなくなりました。暮らしに身近な制約がなくなる中、ウイズコロナ、ポストコロナに向けた新たな社会の構築が始まっております。

新型コロナによって私たちの価値観やライフスタイルが大きく変化する中で、コロナ禍をきっかけにした新しい社会はどういう方向性を持つのが問われています。本県においても、皆様と共通する視点である持続可能な発展を目指し将来を見据えた具体的な対応が求められます。

本県の未来に目を向けると、医療、福祉、環境、防災、平和な社会の構築、教育、貧困対策等多くの課題が山積しております。そこで、大切なことはもう一度、生活者の視点からあらゆる政策を見直し、生活者の暮らす地域を支えていくことであると考えます。

生協連の皆様は、正に生活者を中心とした組織であります。その点からも公明党の政策とも共通する部分も多く、私どもも皆様の意見を政策に反映させたいと感じております。そして、貴連合会が、今後とも幅広く地域貢献を進めていくために、県として後押しができる様、これからも連携を取ってまいり所存でありますので宜しく願い申し上げます。

最後に、埼玉県生活協同組合連合会の更なるご発展と、会員の皆様のご多幸をお祈り申し上げます、挨拶とさせていただきます。



埼玉県生協連との更なる連携を願って

埼玉県議会 無所属県民会議

代表 井上 航

埼玉県生活協同組合連合会 第52回通常総会の開催、誠におめでとうございます。

貴連合会は日頃より様々な事業を通して、食の安全や環境問題などに取り組むと共に、災害支援など、県民の暮らしの安心・安全の確保に努められていることに心より感謝を申し上げます。

また、昨年から続くロシアによるウクライナ侵攻にあたって、ウクライナの子どもたちや家族の命を守るため募金による支援を行うなどの取組に重ねて敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症も本年5月8日から「5類感染症」になりましたが、エネルギー料金や物価高騰などの影響もあり多くの県民が厳しい生活を強いられております。

そうした状況の中で、我が会派では「県民の命に直結する施策への重点投資」を今年度の最重点施策に掲げ、会派一丸となって取り組んでおります。

具体的には、「新たなフェーズに対応した新型コロナ医療体制の整備」や「児童虐待防止対策の強化」について政策提言を行っておりますが、折しもこの度、貴連合会の会員である生活協同組合パルシステム埼玉に令和5年度の県の新規事業である、孤立した子育てやワンオペ育児などを防止するために、子どもが出生した世帯に対してギフトを贈る「埼玉県子育てファミリー応援事業」の業務委託を担って頂いています。子育て世帯を行政等に繋げる架け橋となることを心より期待しております。

我が会派もまた、前任期より児童虐待防止に向けて県内に新たな児童相談所を開設するべく取り組んでまいりました。

その甲斐もあり、令和7年度に朝霞市内での開設に向けて県が準備を進めておりますが、虐待や子どもの貧困などに悩むご家庭は後を絶ちません。

そのような中において貴連合会に所属する団体の皆様は、フードバンクや子ども食堂、学習支援など、県内各地で素晴らしい成果を出されています。先行き不透明な社会において、地域と人とを結ぶ貴連合会の活動は今後益々重要になってまいります。引き続き会員の皆様のご活躍をお願い致します。

結びに、貴連合会の更なるご発展と会員皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げ、挨拶いたします。



第 52 回埼玉県生活協同組合連合会総会へのメッセージ

日本共産党埼玉県議会議員団

団長 城下 師子

埼玉県生活協同組合連合会第 52 回総会のご開催、誠におめでとうございます。

生協連のみなさまの核兵器をなくすための取り組みや生活困窮世帯への食料支援など、いのちと平和を守るみなさまの活動に心より敬意を表すものです。

2023 年は新型コロナが 2 類から 5 類相当になり、少しずつ生活もコロナ前に戻りつつあります。しかし、未だに収束しないロシアのウクライナ侵攻で多くの命が奪われております。さらにロシアは核兵器の使用をほのめかしており、重大な危機が続いております。真剣に人類の安全保障を考えるなら、核兵器は廃止するべきです。

また物価高騰に歯止めがかからず、県民の生活を直撃する事態に陥っております。

ガソリン・食料品・電気料金・ガス料金はじめあらゆる生活関連品の相次ぐ値上げで県民から悲鳴が上がっております。値上げで「もう暮らしていけない」とのたくさんの声が寄せられています。先行きの見えない生活への不安の中で、物価高で暮らしと営業は深刻な打撃を受けており県民生活の困難が長期に及んでおります。

この根本にはコロナの前から、自公政権による相次ぐ消費税の増税、社会保障の切り捨て、使い捨て雇用を広げてきたという冷たく弱い日本の経済政策があります。いま必要なことは使い捨て雇用を改め、賃上げすること、そして社会保障を立て直すことで、このような困難な時代にあって、今こそ生活協同組合は特に重要な役割を担っており、特に貴連合のフードパントリーの取り組みについてわが党内外から高い評価の声があがっています。

埼玉県生活協同組合連合会のますますのご発展とご健勝を祈念いたしまして、総会へのご挨拶とさせていただきます。



埼玉県議会 無所属改革の会
中川 浩

◆自殺者 昨年1割増 今年更に1割増 (埼玉県)

県内の昨年の自殺者数は、前年比12%増、今年1～4月は昨年同月より更に12%増えています。

コロナ3年間での事業者の借金返済が本格化する中で、物価が高騰し、中小企業の中でも資金力の無い零細企業の倒産や失業を防ぐ事が1番大きな課題で、『所得の再分配』の観点を踏まえて、これまでの仕組みや取り組みを見直していき、改善しなければと思ひ、動いています。

◆詐欺防止 具体策

大手銀行によっては窓口を無くしてATMのみにしていますが、ATMのみだと行員はおらず、詐欺を食い止めるのが家族や、たまたま居合わせた周りの方頼みになります。埼玉県警察本部や警察署と打ち合せを重ねた結果、①詐欺を水際で阻止できた件数を初めて公開して下さいました。詐欺被害の多い警察署管内の中で、②詐欺予兆電話があった事の警察署への通報件数と合わせて市民の皆さんに示す事で、「水際で多く防いでいるので、それでも被害を少なくしている管内がある一方、水際で阻止できず、被害が多い管内がある」といった自分の地域が他と比べてどう違うかが分かり、話題にするなど具体的な行動につながればと思っております。

詐欺だけでなく、強盗につながるかねない電話。対策として、電話が鳴る前に録音される事の自動音声で相手に流れる『録音機能』付きの電話機であれば、犯人は証拠が残る事を嫌がり、電話を切るの

詐欺被害と阻止率 埼玉県 (警察署別 昨年)

		被害	水際阻止	阻止率	予兆電話通報	通報率	被害額	水際阻止額
1	狭山	107	75	0.7	634	5.9	2億6581万円	3686万円
2	浦和	102	193	1.89	815	8	2億4749万円	1億241万円
3	越谷	87	117	1.34	694	7.98	1億5832万円	6812万円
4	朝霞	85	94	1.1	786	9.25	1億3550万円	3844万円
5	川口	70	213	3.04	446	6.3	1億4205万円	1億3684万円

で、これまでに詐欺被害はありません。街の電気店でも取り扱っています。生協連に係る皆様の知人の方が更に周囲に伝えて頂ければと思ひます。「詐欺に気を付けましょう」などでは、被害は中々減らないですね。



安心安全な地域づくりをめざして

埼玉県議会日本維新の会

中村 みか

埼玉県生活協同組合連合会の第52回通常総会が開催されますこと、誠におめでとうございます。貴連合会の皆様方におかれましては、平素より、県民の食、福祉、環境、防災などの様々な分野におきまして、多大なご尽力を賜り、心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

さて、本年5月8日から新型コロナウイルス感染症の法上の位置づけが、2類相当から5類に移行されました。今後は飲食や観光を中心に、消費拡大や人々の生活における選択肢の広がりや、イベントの開催等により地域の活気が戻ることが期待されます。

しかし、当然のことながらコロナウイルスは無くなったわけではなく、私達ひとりひとりの基本的な感染対策がより重要となり、健康管理を念頭に置いた社会生活への意識を高めていかなければなりません。

そういった流れにおいて、貴連合会の取り組みは、一層人々の生活を支えていただく架け橋になっていくことと存じます。

私も生協さんには幼少の時からお世話になっております。きっかけは、近所の友達の家でCO-OPのロゴが入ったトラックが、食品の宅配で度々来ていたことです。それが羨ましくて母にお願いし、我が家にもCO-OPのトラックに来てもらえるようになりました。子供ながらにCO-OPの食品＝健康に良い、という認識があり、食品の品質がしっかりと管理されていることの嬉しさと安心感、それが大切なことなのだという感覚を養わせてもらっていたのだと、今になって感じています。

今後も貴連合会の皆様方には県民が心豊かな生活を営めるよう、益々のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本維新の会といたしましても、県民の皆様の声をしっかりと汲み取り、それらを県政に反映させ、暮らしやすいまちづくりにつとめて参ります。

結びに、埼玉県生活協同組合連合会の更なるご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、私からのご挨拶とさせていただきます。



戻れリアル、戻れ笑顔

埼玉新聞社

代表取締役社長 関根 正昌

埼玉県生活協同組合連合会の第52回通常総会が開催されますことを心からお喜び申し上げます。また、県生協連の皆様におかれましては、日頃、埼玉新聞を職場やご家庭でご愛読賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナは、予断を許さないものの、収束が次第に見えてきているようでもあります。各地でお祭りや大きなイベントが、コロナ前の規模で行われることも増えてきました。人の喜びや驚き、親しみの表情に、リアルに接することができるありがたさを痛感していらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。

物価高は相変わらず私たちの生活に暗い影を落としています。それを和らげ、人々に前を向かせる一助になるのは、県と県生協連の施策と行動、そして笑顔だと思います。期待しています。応援しています。



埼玉県生協連第52回通常総会挨拶

J A埼玉県中央会

代表理事会長 坂本 富雄

埼玉県生活協同組合連合会の第52回通常総会が盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが5類に引き下げとなり、以前のようにとはいかないまでも、世の中に活気が戻ってきていると感じております。

ロシアのウクライナ侵攻等の影響で、肥料や飼料、燃料など生産資材の価格が高騰し、生産者にとって大変厳しい状況が続いております。JAグループさいたまは、食料安全保障の考えのもと、持続可能な地域農業の実現に向け、鋭意取り組んでまいります。

生協の皆様には、今後も連携を強めながら、協同活動を進めていくことを期待いたします。

貴連合会のますますの発展と関係各位のご活躍を祈念し、ご祝辞に代えさせていただきます。



持続可能な地域づくりをめざして！

日本労働者協同組合連合会センター事業団
埼玉事業本部 本部長 藤谷 英樹

埼玉県生協連第52回通常総会の開催、誠におめでとうございます。また、日頃より協同組合間連携事業や労働者協同組合の運動におきまして多大なご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

人口減少や少子高齢化、物価高騰など、私たちの生活と地域を取り巻く環境は日々厳しさを増しています。そのような中「エッセンシャルワーク」と言われる事業分野を担われている生協の皆さまのご苦勞とご努力に心より敬意を表します。

私たちワーカーズコープも、多様な働き方の実現と地域のニーズに応える仕事おこしを通じて、持続可能で活力ある地域社会の実現をめざして役割を果たしていく所存です。

貴連合会の更なるご発展をご祈念申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



「誰ひとり取り残さない」 包摂的で持続可能な社会をめざして

一般社団法人 埼玉県労働者福祉協議会
理事長 近藤 嘉

埼玉県生活協同組合連合会第52回通常総会が盛大に開催されますこと、心よりお慶びを申し上げます。また、日頃より埼玉労福協の運動に対しますご理解、ご協力に心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、5月8日から感染症法上「5類」へと移行され、ポストコロナへと大きな転換点を迎えました。苦しい思いをしてきた3年間だったからこそ、そこで得た知見や経験を踏まえ、時代に即した運動スタイルを取り入れつつ、「誰一人取り残さない」包摂的で持続可能な社会の実現に向け、取り組みを前進させていきましょう。

結びに、埼玉県生協連の益々の発展と会員の皆様のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、お祝いならびに挨拶とさせていただきます。



協同組織が「ずっとくらしのなかに」

中央労働金庫
常務理事 谷内 聡

埼玉県生活協同組合連合会第52回通常総会の開催、誠におめでとうございます。創立50年から新たに100年に向かって、事業を活発に推進されていることとご拝察いたします。

生協連の皆様が多様なニーズに応じて事業を推進し、安心してくらし続けられる地域社会「ずっとくらしのなかに」づくりに取り組まれていることと存じます。

私たち中央労働金庫も協同組織の「助け合い・支え合い」が原点にあり、なくてはならない福祉金融機関として皆様の「生活応援運動」の役割を発揮し、生涯にわたって相談サポートしていく所存です。

まだまだ社会の課題は数多くありますが、お互いに連帯して役割を発揮していきましょう。

結びに埼玉県生協連の益々のご発展を心よりご祈念申しあげましてご挨拶いたします。



「もったいない」から「ありがとう」へ

特定非営利活動法人フードバンク埼玉
理事長 とよしま 亮介

フードバンク埼玉は、非営利・協同組織の協力により2017年に設立され、食品取扱量は年間100トンを超えました。

埼玉県生協連におかれましては、当団体の理事会・運営委員会を通してご指導を頂き、県内単位生協のフードバンク支援・協力へと繋げて頂いており、深く感謝申し上げます。

コロナ禍を経験し、社会は大きく変わりました。生活困窮者・ひとり親家庭・高齢者・在住外国人などフードバンク支援の対象は多岐にわたり、福祉的役割は日々大きくなっています。私たちが掲げるスローガン『「もったいない」から「ありがとう」へ』は、長年にわたり生協運動が行なってきた活動が源流です。更にひとりでも多くの方の命と暮らしを支えるため、引き続き埼玉県生協連および参加団体の皆様のご支援及びご協力を賜りますようお願い申し上げます。



今までも生協連、これからも生協連

埼玉県地域婦人会連合会
会長 柿沼 トミ子

埼玉県生協連第52回通常総会の開催、誠におめでとうございます。

半世紀を超えられる活動に対し、吉川会長理事を始めとする皆様に、深く敬意を表する次第です。

52年前を思い起こせば、昭和の高度経済成長真っ只中、すべてが右肩上がりの時代でした。そのような中、市民目線での消費者活動が県民からの熱い支援を受け、みるみる拡大していきました。私たちの団体活動も目指す理念は重なり、今日まで連携を深めながら、行動を共にさせて頂いておりますことを感謝申し上げます。

さて、現状を見渡すと少子高齢社会の中、物価高、人材不足、資源不足が顕在化しております。今後の日本の将来を明るくものにするためには、人生100年時代を背にできる限り、生涯現役でSDGsの精神を生かしていく必要があります。その大役を担って頂くのは生協連であります。



持続可能な社会を力合わせて

新日本婦人の会埼玉県本部
会長 高田 美恵子

埼玉県生協連第52回通常総会の開催おめでとうございます。

なかなか収まらないロシアのウクライナ侵略や円安の影響で、4月以降、食料や日用品など6000品目が値上げされ、物価高騰が止まりません。働く人の賃金はなかなか上がらず、高齢者は年金が減らされ、コロナ禍で疲弊した私たちの暮らしはますます厳しくなっています。そんな中、安心安全な消費生活をめざし、地域で助け合いの輪を広げる生活協同組合の活動は大きな支えです。

皆様とは、消費者団体連絡会や消費者大会でご一緒させていただき、埼玉県政に対しても消費生活にかかわる様々な要請や懇談を行っています。今後とも、貧困と格差の是正、気候危機の克服やジェンダー平等、核兵器のない平和な世界へ、力を合わせて持続可能な社会をつくってまいりましょう。



子どもたちに平和な未来を！

埼玉母親大会連絡会
代表委員 常盤 智子

埼玉県生協連第52回通常総会ご盛会おめでとうございます。

生協連の皆様とは消団連や消費者大会で一緒にしてきました。地域課題の解決に向け行政・諸団体と連携し、より一層豊かな地域社会をめざして取り組んでおられることに、心から敬意を表します。また、日頃より母親大会成功のため、ご支援ご協力いただいていることに心より感謝申し上げます。

「核戦争から子どもたちを守ろう」と母親大会は始まりました。今、平和な社会を守っていくことが大事な時です。子どもたちに平和な未来を手渡すためにも、平和を願う人々と連帯し、持続可能な社会を実現させてまいりましょう。

貴会の益々のご活躍を期待します。



埼玉県生協連第52回通常総会おめでとうございます

埼玉公団住宅自治会協議会
会長 竹村 正

埼玉県生協連第52回通常総会の開催、おめでとうございます。

埼玉の地域において、食と商品、健康、環境や平和、生活困窮者支援、消費者被害防止など多彩な活動を続けてきたことに、心から敬意を表します。

私たち埼玉公団住宅自治会協議会も「住まいは福祉、住まいは人権」「公団住宅を公共住宅として守ろう」をかかげ、60年余にわたって自治協運動をしてきました。いま、住まいに困窮する国民が急増しており、2022年5月「家賃補助制度の検討」を厚労大臣が国会で答弁しています。安心して住み続けられる住まい、公団住宅が住宅セーフティとしての役割を果たすことがますます重要になっています。共にがんばりましょう。

貴連合会の更なるご発展をご祈念申し上げます。



埼玉県生協連第 52 回通常総会挨拶

さいたま市消費者団体連絡会

代表 廣田 美子

埼玉県生活協同組合連合会第 52 回総会の開催を心よりお祝い申し上げます。

コロナ禍で失われた日常が少しずつ戻りつつあります。しかしながら、日常生活における物価の高騰や平和への不安、環境問題、高齢者だけでなく成年年齢引き下げによる若年層の消費者被害などまだまだ多くの課題も山積しています。

埼玉県生協連が行政や他団体と共に果たされる役割や責任も益々大きくなって来ています。市民生活の不安を減らし安全安心な生活をおくれるよう活動に期待しております。私達も消費者団体として微力ながら共に歩いていくため、今後ともご指導ご鞭撻よろしく願いいたします。

埼玉県生協連のご益々のご発展とご活躍を祈念してご挨拶に代えさせていただきます。

埼玉県生活協同組合連合会

〒 330-0064 さいたま市浦和区岸町 7-11-5
Tel 048-844-8971 Fax 048-844-8973
HP : <https://skenren-coop.jp>